

**製品名: CD5 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM84944**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.5% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:50-1:100
分子量	/

**抗原情報**

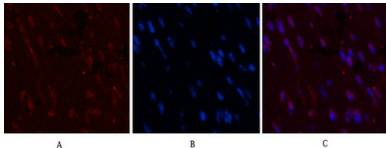
遺伝子名	CD5
別名	CD5; LEU1; T-cell surface glycoprotein CD5; Lymphocyte antigen T1/Leu-1; CD antigen CD5
遺伝子 ID	921.0
SwissProt ID	P06127
免疫原	KLH に結合した合成ペプチド。

**背景**

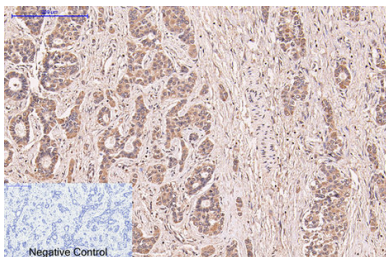
T細胞の増殖を制御する受容体として作用する可能性があります。CD5 は CD72/LYB-2 と相互作用します。

## 研究分野

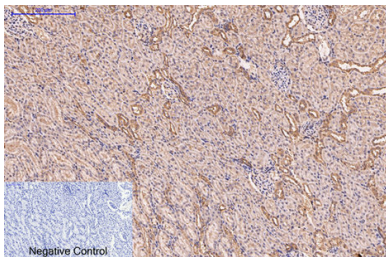
## 画像データ



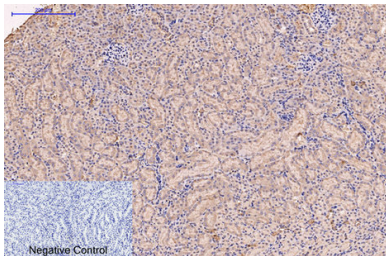
CD5 抗体(10G8)(赤)および DAPI(青)を使用したマウス心臓組織中の CD5 の免疫蛍光分析。



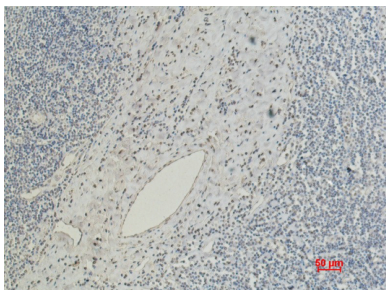
CD5 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肝臓癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。



CD5 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。



CD5 抗体を用いたパラフィン包埋マウス腎組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧・高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いた。ネガティブコントロールとして、二次抗体のみを用いた。



CD5 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。